

## 兵庫県・神戸市調整会議 議事録

令和元年12月17日（火）14時15分～15時45分  
神戸市役所1号館14階大会議室

出席者：（県）井戸知事、金澤副知事、荒木副知事、長岡県議会議長、浜田県議会副議長、伊藤技監、戸梶企画県民部長、水埜政策創生部長、藪本健康福祉部長、入江福祉部長、谷口産業労働部長、寺尾農政環境部長、田中環境部長、濱県土整備部長、出野上まちづくり部長、西上教育長、藤原神戸県民センター長  
（市）久元市長、岡口副市長、寺崎副市長、油井副市長、安達市会議長、村野市会副議長、今西理事、谷口企画調整局長、鈴木企画調整局担当局長、遠藤行財政局長、岡田市民参画推進局長、山本経済観光局長、三島建設局長、三木建築住宅局長、辻港湾局長、岸田交通事業管理者

### 【久元市長 開会あいさつ】

井戸知事をはじめ、兵庫県幹部の皆様方、また、長岡議長、浜田副議長には神戸市政の進展に絶大な御支援、御指導をいただき、厚く御礼申し上げます。

一昨日、ルミナリエが終了したが、幸い天候にも恵まれ、大変多くの方々に来場いただいた。

まもなく震災から25年になるが、知事がいつも仰っておられるとおり、震災の記憶をしっかりと受け継いでいかなければならないと思っており、神戸市もそのような思いで、様々な記念事業なども行っていきたくと考えている。

同時に、震災からの復興がかなり実現をしてきている神戸では、新しい時代を見据えた様々な事業を積極的に展開していき、人口減少を最小限に食い止める努力をしていかなければならない。

神戸で住み、神戸で働き、神戸で学びたいと思っただけのようなまちづくりを積極的に行っていかなければならないと考えている。

神戸は、交通の要所として発展してきたまちであり、陸海空のそれぞれの強みにさらに磨きをかけるべく、兵庫県からも様々な御支援をいただいている。

また、ゴールドenspportsイヤーズが間近に迫ってきたが、今年はラグビーワールドカップが大きな成功を収めたので、この成果の上に、ワールドマスターズ、更に世界パラ陸上などを成功に収めるべく、しっかりと準備をしていきたく思っているため、よろしく願います。

災害が相次いでいるが、六甲山砂防、また、沿岸部の高潮、津波対策については、兵庫県から絶大な御支援をいただいている。国の支援もいただきながら、更に強力に進めていかなければならない。

災害対策の面は、市民の皆様の目に触れない部分が多いが、目に触れないが非常に大事な分野であるので、しっかりと地道に、かつ、スピード感をもってやっていかなければならないと思う。

県市の協調は、様々な面で目に見える成果を上げてきており、その一つとして、新長田の合同庁舎がある。

これは新長田の駅周辺、また、長田にとっても非常にいい影響があったと考えている。様々な御支援をいただいている六甲山の活性化についても、できるだけ早く、目に見える形で成果が生まれるように進めていきたいと考えているので、よろしく願います。今日は県議会、市会の正副議長に御出席いただいているので、いろいろと御意見を賜りながら、県市協調が更に前に向かって進むことができるような成果をあげることができればと考えているのでよろしく願います。

### 【井戸知事 開会あいさつ】

今回は当番が神戸市ということで、久方ぶりに14階の会議室に参上させていただいた。安達議長、村野副議長、長岡議長、浜田副議長にも御同席いただいております、忌憚のない意見が聞けるのではないかと期待をしています。

ルミナリエも今年で25回目であったわけだが、もう少し人が増えているのではないかと思っていた。

前年から約4万3千人のプラスということだが、土日の様子を見てみると、大勢の方々が来られていたのでそのように思っていたが、出足が悪かったということなので、そのあたりがまだまだPRの余地があると思っている。

もう一つは、せっかく350万人近い人達に来ていただいているので、その人達をもっと神戸市内に留める工夫が必要である。

ラグビーワールドカップの時のような雰囲気が出せないものか、更に工夫の余地があるのではないかと思っている。

最近の出来事で私が期待をしているのは、フジドリームエアラインズの、ローカル空港とローカル空港を結ぶという戦略である。

もともと、アメリカでは航空網が発達しており、ローカル空港同士を結ぶ航空網も発達している。鉄道を使って行くのが不便なところはローカル空港を使って行くことになる。

そのような意味からすると、フジドリームエアラインズの戦略というのは、これからを象徴しているのではないかと思うので、注目をしていきたいと思っているし、但馬空港もその一員に是非入れていきたいと考えている。

今年も随分災害が多かったが、台風19号の雨の降り方について、兵庫県に同様の雨が降ったらどうなるのかシミュレーションを試してみた。

そうすると、時間雨量自身はそんなに多くはないが、1年分の約3割（気象庁神戸観測所）が、ほぼ24時間で降るために、持ちこたえられないという結果となった。雨の量が多いために、特に流域の大きい河川は持ちこたえられないという結果である。

神戸の河川の多くは比較的整備が進んでおり、六甲山の南側の河川は短時間で海に流れ出てしまうが、六甲山の北側のいくつかの河川は問題になるのではないかと思っている。

それに関連して、先日、赤羽大臣にも御同席いただいて、千苅ダムの放流設備の改良工事の起工式をやらせていただいた。水道専用ダムに100万トンの洪水調節のポケットを作っていただくということになったことについて、神戸市の御協力に心から感謝申し上げます。

既存のダムの治水利用、あるいは、既存ダムの事前放流を含めた多角的な運用が、これからも非常に重要になってくるだけに、大変先駆的な試みを神戸市の御協力で行うこ

とができたということではないかと思っている。

来年の1月17日に震災から25年を迎えるわけだが、私は、「忘れない・伝える・活かす・備える」という、この4つのコンセプトを大切にしながら、もう一度、25年前の原点に戻って、安全な社会づくりを目指そうということと呼びかけさせていただいている。

地道な過程を辿らなければならない事柄だが、積み重ねれば積み重ねるだけ、成果が上がるといえるので、協力をお互いにしながら、推進を図らせていただければと思っているが、県民市民にその気になってもらわないと、現実に防災体制は組むことはできない。

そのため、このような節目にその気になるようないろいろな試みを行っておくということが重要だということ、私どもも心得て対応をさせていただきたいと思うのでよろしく願います。

震災から25年が経ち、ようやく新しいステージに移り変わったと言えらると思っており、インフラ整備については、湾岸の西伸部の進行なども含めて、順調に進みつつある。

今回の台風19号を受けた国の補正予算も、予算額で4.3兆円規模ぐらいに上りそうだが、これらをフルに活用しながら、事業の促進を図っていきたいと考えており、高潮対策もスタートを切りたいと思っている。

県庁の建替えの問題についても、神戸市に御協力をいただくことが出てくると思う。

容積率の緩和や、栄光教会と県庁2号館・3号館の間の道路をどうするか、まちを平面的、立体的に活用しようとしたときに、望ましい活用の仕方はどうあるべきか、ということが問われてくると思うので、単に庁舎を建て替えばよいということだけではなく、まちの核をどう作っていくかという観点で、検討を進めていきたいと思っているので、御協力をお願いしたい。

新長田の合同庁舎については、1日当たり、職員以外で900人近い人達に来訪いただいているようである。職員が千人ちょっとなので、1日当たり約2千人の人達が合同庁舎に訪れていただいているようで、周辺のいろいろな活性化にも寄与しつつあると聞いている。

先ほど、神戸県民センター長に、ここで会議をするよりも新長田の合同庁舎で行った方がよいのではないかと伝えたが、次に開催するときは公館ではなく、新長田の合同庁舎で開催するようにさせていただければと提案をしたい。

まちの改造が急務となっているが、これは時間軸との戦いであり、どのような手順でどのような施設を整備していくのか、そして、どれくらい効率的に進めていくのか、ということが問われることになるので、特に三宮の再開発については、久元市長のリーダーシップでしっかりと迅速に進めていただくことをお願いしたい。

県市の間で課題や問題事項があれば、率直に意見交換をさせていただき、解決を図ることが基本であるので、よろしく願います。

今日も元町駅前で、ワールドマスターズゲームズの514日前となる残日計を設置させていただいた。これもラグビーワールドカップの残日計を衣替えして活用させていただくことになったわけであり、再活用をさせていただいた。そのような意味でも、互いに協力し合うことで、大きな力を発揮できる例ではないかと思う。

オリンピックの聖火リレーの100日前となり、聖火リレーの日程も組織委員会から公表された。

神戸市においても、県庁をスタートにして、BE KOBEが終点となる聖火リレーを挙行させていただくので、よろしく願います。

55年前に、台風が来たことで、神戸から大阪への聖火リレーができなかったわけだが、

その時のオールドチームの皆様にも走っていただこうと考えている。

協同して対応しなくてはならない、いろいろな事柄もあるので、どうぞよろしく願います。

## 【資料説明】

<省 略>

## 【意見交換】

(長岡県議会議長)

私からは2点申し上げたい。

一つ目は、六甲山の活性化についてである。

六甲山の活性化に向けては、神戸市と連携してプロジェクトチームを立ち上げ、規制緩和など、様々な取組が進められている。

また、今年3月に策定された六甲山グランドデザインによるアクションプランに基づいた取組が推進されている。

1,000万ドルの夜景は魅力的であるほか、先日、家族で訪れた六甲ミーツ・アートも大変すばらしかった。

道すがら、門の閉まった施設を見ると、神戸育ちの妻は、少し寂しい感じがすると言っていた。

今後、この六甲山のポテンシャルを生かしてブランド力を高めるために、神戸市と一緒に連携して取り組んでいきたいと考えているので、よろしく願います。

二つ目は、様々な世界的大会の開催に向けた取組である。

冒頭、久元市長より準備をしていく旨伺ったが、インバウンド誘客の拡大には絶好の機会であるため、県内各地を周遊できるように、神戸市はもとより、県内各市町と連携していきたいと考えている。

加えて、来場者を受け入れる交通アクセスの問題については、課題を抱えた関係市町と連携して取り組んでいきたいと思うので、お力添えをいただきたいと思う。

今後とも、神戸市との緊密な連携により準備を進めていければと考えているので、よろしく願いたい。

(浜田県議会副議長)

私の方からも2点意見を言わせていただきたい。

まずは、三宮の再整備、そして県庁周辺の整備については、兵庫県、そして神戸市全体の玄関口でもあり、社会経済、あるいは国際観光の発展、地域創生に大きく寄与するプロジェクトであると思っている。

三宮周辺については、既に新たなバスターミナルの整備などが発表されているが、淡路島からのバスもターミナルが二つに分かれている。

神戸市民も含め、神戸を訪れる多くの方は、ターミナルの一体化整備を望まれているのではないかと思うので、是非、早期完成を目指した取組をお願いしたい。

県庁周辺の整備については、いろいろな課題があると思うが、元町駅を挟む南北の分断が大きな課題だと感じている。

また、県庁建替においては、最初の挨拶で知事が言ったように、都市計画上の容積率の緩和や市道の付け替え協議など、場合によっては発生するかもしれないので、その点についても協力をお願いしたいと思う。

その上で、三宮、元町、あるいは県庁エリア一帯を回遊できるようなまちづくりができればよいと考えている。

今日、知事と市役所の展望台に上がったが、中突堤は淡路島の人にとって愛着があるところで、今日は飛鳥が停泊していた。

クルーズ客船のお客さんも行き交うなど、港も含めて一体的に活性化できればと思うので、一緒になって、頑張らせていただきたいと思います。

もう一つは、大阪湾岸道路西伸部の整備促進である。

阪神高速3号神戸線や国道2号、第二神明道路の幹線道路の渋滞が非常に大きな課題となっており、それを改善することで、企業の進出、あるいは地域活性化への効果が期待されるのではないかと考えている。

兵庫県議会も、国会議員と一緒に早期整備に向けて取り組んでいるところである。

大阪湾岸道路西伸部の整備が本当に必要だと思ったのは、去年、西日本豪雨の際に伊丹から神戸に帰ってきた時のことである。

伊丹を19時に出て、1時間足らずで灘区あたりまで来たが、そこから県庁の周辺まで行くのに約5時間かかった。

この状態では、避難指示、避難勧告が出たときに、住民の皆さんも避難ができないし、災害があった時の緊急輸送道路としても必要だと思うので、皆さんと一緒に力を合わせながら、県市が連携の上、早期実現に向けて力強く取り組むべき課題だと思う。どうぞよろしく願います。

#### **(安達市会議長)**

神戸市政の推進に当たり、井戸知事、そして金澤副知事、荒木副知事をはじめとして県幹部の皆様、また、長岡議長、浜田副議長には大変お世話になっていることを御礼申し上げます。

私からは2点申し上げたいと思う。

まずは、神戸空港の利用促進についてである。

今年5月の三空港懇談会において、兵庫県をはじめとして、関西自治体、関西経済界の御理解をいただき、神戸空港の規制が一部緩和された。

便数についても一日60便から80便に緩和されたわけだが、8月からはスカイマークの茨城便の増便、そして、新たに10月27日からフジドリームエアラインズが、出雲と松本便を就航させた。

私も出雲からの第1号便に乗って神戸まで戻ってきたが、これまで神戸から出雲地域までは陸路で3時間以上かかっていたのではないかとと思うが、それが約50分で結ばれることで、利便性向上と新たな交流が生まれることが期待されている。

出雲側の皆様方の御意見を聞いても、是非これを起爆剤として、神戸へ行き、そこから東京や関西へ行くことに利用していきたいという意思表示があったところである。

また、12月20日からは高知便が就航されることもあり、緩和された発着枠も順調に増えてきており、早速上限に近づいていることから、神戸空港の需要の高さが改めてはっきりと表れているのではないかとと思う。

今後の緩和には、ターミナルの規模をどうするかなどの課題もあるわけだが、是非とも更なる利活用に向けて、今後とも兵庫県と歩調を合わせていきたいと思っているのでよろしく願います。

ひいては、国際便ということをしつかりと視野に入れて、前に進んでいきたいと思っている。

それから、空港へのアクセスの件である。

今後さらに神戸空港を利活用いただくには、三空港懇談会でも課題として挙がっている、神戸空港へのアクセス改善が急務であると考えている。

特に現在、ポートライナーは朝夕の混雑がひどく、この改善が急務であると考えている。

ポートライナーの増便や、新神戸駅・三宮駅・神戸駅からのシャトルバスの運行も昨年4月から行っているところであるが、更なる活用を見据えた際には少し心もとないのではないかと考えている。

かなり将来的な話になるかもしれないが、また、私の私見で恐縮だが、現在、阪急電鉄と神戸市営地下鉄の相互直通運転について調整が行われており、三宮を乗り入れ拠点に、という報道も一部ある中で、仮に三宮において、西神からの線路が阪急と繋がるとすると、もう一方の谷上から三宮の線路を南に伸ばすことで、神戸空港へのアクセス線として活用できるのではないかと考えている。

いずれにしても、神戸空港の更なる活用とともに輸送力の強化に向けて、兵庫県の御協力を是非ともよろしくお願いしたい。

#### (村野市会副議長)

私からは県民緑税に関して意見を述べたい。

兵庫県におかれては、地方分権が進むよう、国に対し、例えば交付金の自由度の向上や、事務権限の移譲などを要望されるとともに、市町に対しては事務処理特例を活用した事務・権限の移譲など、様々な形で地方分権の取組を進めていただいている。

こうした流れを踏まえて、県民緑税についても、基礎自治体である神戸市が戦略的に自由度をもって活用できるようにしていただきたいと考えている。

これまで神戸市においても、住民団体等が県民まちなみ緑化事業を活用して民有地等で新たな緑化を進めてきた。

住民団体等から一定の需要はあるものの、今後はより一層、神戸市民が県民緑税の効果を実感できるようにしていく必要があると考えている。

こうした中、神戸市では若者をはじめとする定住の促進や交流人口の拡大に向け、都市の魅力に更なる磨きをかけるため、リノベーション神戸に取り組み、県民市民が広くその効果を楽しむよう、駅前空間等において花や緑による高質な空間づくりを進めようとしている。

また、まちなかの樹木には様々な役割があるが、デザイン都市・神戸に相応しい風格ある景観を形成するためには、質の高いきめ細やかな管理が重要で、市民からは日々数多くの要望が寄せられている。

こうした取組に緑税を活用することで、多くの県民市民が税の効果を実感できるのではないかと考えている。

これらの取組に際しては、一定の市民参加は促すものの、高齢化社会が進む中、地域の担い手不足もあり、地域団体等による植樹や管理の取組も難しくなっている現状においては、やはり市が責任をもって推進する必要があると考えている。

いわば県の顔ともなる神戸市では、緑の量のみならず、質の向上も図っていくことが重要であり、県民まちなみ緑化事業を更に使いやすくしていただき、県市が協調して高質な緑化が進められるよう御協力を是非ともよろしくお願いしたい。

### (井戸知事)

まず、空港の利用促進については、一緒にやっていかなければならないが、便数を増やすことに加え、せっかく運用時間が1時間伸びたので、羽田からの最終便を21時45分としても、神戸空港なら困らない。

そのような意味で、できるだけ羽田の遅い便と一緒に作りたいと思っているのでよろしく願います。

空港へのアクセス強化ということも必要であるが、これはどう具体的にするかということではないかと思う。

県民緑税の活用については、管理費用に充てるということは少し難しいかもしれないが、駅前空間整備に充てるということは可能ではないかと思うので、具体的にまた協議をさせていただければと思う。

来年度から森林環境譲与税が今年度の交付額の2倍になり400億円になる。

平成31年度のフレームでは借金をして配るフレームになっていたが、地方公共団体金融機構の準備金の一部を活用して、令和7年水準を来年度から達成するということが決まっているため2倍になる。

したがって、神戸市の交付額も1億3千万円くらいになるはずであるので、これを上手に使われてはいかがかという思いもある。

平成16年の災害を契機に県民緑税を作らせていただいて、山の保全対策を強化してきたことが、あまり大きな災害を受けていない結果に繋がっているのではないかと考えている。

去年の7月豪雨の後のフォローアップでも、災害に強い森づくりを進めた斜面地ではほとんど土砂の流出がないという検証結果であり、県民緑税の災害に強い森づくりの効果というものは相当なものがあると思っている。

これはこれでしっかりと取り組ませていただくし、都市緑化部分の活用についても、駅前空間の整備には対応できるようにする余地があると思うので相談させていただければと思う。

住民団体が管理運営をする場合には、管理費は助成する仕掛けにしていらないが、管理運営の部分については、そのような仕掛けは持続しなければならないのではないかと考えている。事務方ではもっと知恵を出してくれるかもしれないので、また相談をさせてほしい。

### (久元市長)

前回の兵庫県との会議で、三島建設局長と議論をしたが、山の中の街路樹は相当切っただいた。神戸-加東線は全部切ったのか。

### (三島建設局長)

神戸-加東線は全て切った。

周りに緑があるので切らせていただいた。

神戸市の市街化調整区域の街路にはまだ街路樹があるので、そこも見直していきたい。

その代わりに、都心部については、しっかりやっていくところはやっていきたいと考えている。

**(久元市長)**

まさに村野副議長からもお話があったが、神戸市の駅前が長年放置されていて、樹木も貧弱で暗く、案内板も老朽化していて非常にみすぼらしいので、計画的に綺麗にしていこうとしている。その一つとして、樹木を植栽するという事に力を入れていきたいと考えている。

先ほど、井戸知事からも大変力強いお話をいただいた。

**(井戸知事)**

相談をしようと言っただけである。

**(久元市長)**

是非よろしくお願ひしたい。

それから、空港のアクセスの話は非常に重要である。

神戸空港の利活用がある程度進んだとしても、ポートライナーは全体としての乗客のニーズには対応できる。

混雑する朝の8時台については、バスの増便などで当面对応したい。

ただ、安達議長が言われるように、それだけでは心もとないということも事実であるため、新たな大量輸送手段というものを考えるべきだということ、先般も商工会議所の家次会頭をはじめ、幹部の皆様方から言われている。

非常にハードルが高く、簡単な問題ではないが、商工会議所との間で実現可能性について共同研究をしていくこととしている。

都心の三宮再整備、県庁の再整備について、都心の再整備のキーワードは浜田副議長が言われた「回遊性」である。どうしたら回遊性を確保できるのか、これは非常に重要な視点である。

油井副市長が県庁舎等再整備基本計画検討委員会に入っているの、一緒にやっていきたいと思っている。

**(井戸知事)**

新長田駅の東口の設置の問題だが、元々震災以前は東口があった。

あったにもかかわらず、JRが相談もせず塞いで復旧をしてしまった。

まずはJRに第一義的な責任があるはずであり、費用がかかるからなどを言える立場では本来ない。そのことをJRにしっかりと伝えてから、議論をしていかなければならないのではないか、という基本スタンスで臨みたいと思っているので、御協力をお願いする。

快速を止めることは非常に難しいと思っている。私の提案は、兵庫駅と新長田駅を交互に止めたらどうかというものだが、この案は皆様が乗り間違えるからいけないと言われるが、乗り間違えたときは、また戻ればよい。

止めた方が望ましいのであれば、それぐらいの提案もあって然るべきではないかと私自身は考えている。

**(戸梶企画県民部長)**

県庁再整備について、補足で説明をしたい。

元町駅の南北の分断解消については、油井副市長にも基本計画検討委員会のメンバーに入っただき、神戸市とも協力をした上で、JRと協議を進めていくということが



課題となっている。

県庁の前に地下鉄の駅があるが、新しく作る県庁舎と地下鉄の駅とのアクセス、そして駅の南側とのアクセスについては現在議論中であるが、うまく動線として繋がるようにしていきたいと考えている。

加えて、賑わい交流ゾーンについて、費用の面も含めて議論になってくると思うがいろいろと御支援、御協力をよろしく願います。

#### (村野市会副議長)

県民緑税については、検討ということであったが、知事より前向きな御回答をいただき感謝申し上げます。

住民団体は高齢化をしてきており、駅の花壇等についても、以前は自主的にやっていた方々でも、もうできないから返上する、というところも出てきている。是非、駅に限らずお願いしたい。

先ほど管理の話があったが、今、神戸市では、植えてほしいという陳情ではなく、切ってほしいという陳情の声がたくさんある。鬱蒼と生い茂っているところを切ると景観が良くなり、ゴミを捨てるような方々もいなくなるため、どちらかというところと良いことばかりである。

神戸市内には鬱蒼と生い茂っているところが多い。

植えるだけが緑化ではなく、綺麗に切っていくということも緑化である。是非とも今まで以上に、自由度を向上させていただきたいということを改めてお願いだけさせていただく。よろしく願います。

#### (井戸知事)

私が初めて神戸に住まうようになって、神戸のまちはとても綺麗だなと関心をしていたが、最近はそう思わなくなった。

街路樹の更新で、立派な街路樹を切って、小さな街路樹に植え替えられたために、この25年の間に緑が減ってしまったと感じている。

大阪は緑がすごく増えている。以前は、大阪と神戸の差は緑の差だと言っていたが、そうも言えなくなってきていると感じるので、是非、三島局長に頑張ってもらって、切るところは切ってもらって、増やすところは是非増やしていただきたい。

県も、街路樹がいないところにたくさん植えているが、せっかく植えているのに、管理コストを下げるために切ってしまうのが良いのだろうか。

管理コストがかからなくて対応できるような形が良いのかということを含めながら、検討していきたいと思っている。

東京の甲州街道は道路を覆うぐらいのケヤキ並木で信号も見えないと言われていたが、信号のところだけ枝を切り、全体剪定はあまりしていない。

私が常に言っているのは、落ち葉ぐらい市民に掃除をしていただいて、協力いただいても良いのではないか。

落ち葉が落ちてくるから切れ、という声が結構あるらしいが、そのような市民としての協力姿勢に欠けるような要請に対しては、断固とした姿勢で臨んでいただけたらありがたい。

県道の管理についても、そのようにしていきたいと考えているので、よろしく願います。

### 【久元市長 閉会あいさつ】

産業育成の関係、特にスタートアップに力を入れるということについては、兵庫県と神戸市、同じスタンスであり、現実には成果が表れているので、是非協調して取り組んでいきたい。

さらに、新しい施策というものが県市協調でできる余地があるのではないかと、ということについても、考えていければ大変ありがたいと思う。

万博への対応については、どう対応するかということを考える必要があるが、一方で、夢洲の会場計画等の内容をしっかりと見極める必要があると思うので、連携を取りながら情報収集を行い、的確に対応をしていければと思っている。

### 【井戸知事 閉会あいさつ】

今日は率直な意見交換をさせていただけたと思っている。

特に神戸空港については、国際化や更なる発着便数の拡張、プライベートジェットだけではないC I Qの体制、今のターミナルビルだけでは早晩満杯になってしまうので、次なるステップに進んでいくのかなど、望ましい活用のための課題がいくつかあるので、それにどう対応していくのかということ、航空会社の考え方もあるかもしれないが、議題に上げて議論を進めていく必要があるのではないかと。是非よろしくお願ひしたい。

もう一つ、些細なことだが、7時5分の飛行機に乗ろうと思い、6時40分に空港に着いても、ずらっと列が並んでおり、今のシステムだと乗り遅れそうになる。

羽田空港が取り入れている、事前に搭乗チェックだけ行い、荷物検査は後から行う方式を是非取り入れていただくように、御検討をいただけたらと思う。

搭乗チェックだけを先に行えば、荷物検査は少々待っていてもお客さんは怒らない。搭乗チェックと荷物検査が一緒になっていて、列が長引いているので、もしかしたら遅れてしまうのではないかと心配があり、イライラとなり諍いが起きたりしている。是非御配慮を賜ればと思う。

リサーチコンプレックスは、しっかりとフォローアップをしていかなければならないし、ITカリスマは何とか立地促進をさせていきたいと思っている。

六甲山の活用の一つとして、ITの起業家が事業所として活用いただくことを更に促進するという対応などについても、来年度の予算編成過程でよく御相談させていただければありがたいと思っているので、どうぞよろしくお願ひする。

このように、課題をお互いが認識し合うだけでも、協力を行うスタートになるので、解決はその後に一緒に図るにしても、課題を共有するというこの会議の良さを引き続き繋いでいき、課題の解決に当たっていきたいと思っているのでよろしくお願ひする。